

## 農業農村整備事業等再評価地区別資料

局 名	関東農政局
-----	-------

都道府県名	千葉県	関係市町村名	勝浦市
事業名	農業競争力強化農地整備事業	地区名	大楠
事業主体名	千葉県	事業採択年度	令和2年度
<p>〔事業内容〕</p> <p>事業目的： 本地区は千葉県南東部に位置し、二級河川夷隅川両岸に展開する水田を中心とする中山間地域である。地区内の農地の区画は不整形であり、ほ場は10a区画で農道は狭く、水路は用排兼用であるため、営農に支障をきたしている。このため、区画整理、農業用排水路及び暗渠排水を整備し、併せて、有害鳥獣による農作物被害を防止するための鳥獣害防止柵を整備することで、担い手農家を中心とした農業経営の安定及び生産性の向上を図り、本地域全体として農業競争力強化を図るものである。</p> <p>受益面積： 41ha</p> <p>主要工事計画： 区画整理 41ha（整地工 41ha、用水路工 12km、排水路工 11km、道路工 13km、暗渠排水工 40ha） 鳥獣害防止工 8 km</p> <p>総事業費： 1,932 百万円（計画総事業費：1,808 百万円）</p> <p>工期： 令和2年度～令和11年度（計画工期：令和2年度～令和9年度）</p> <p>関連事業： 農業水路等長寿命化・防災減災事業 勝浦ダム3期地区</p>			
<p>〔項目〕</p> <p>ア 事業の進捗状況</p> <p>本地区の令和6年度までの進捗率は、8.9%（事業費ベース）である。今後、本格的に工事を進める予定である。</p> <p>① 計画工期に対して著しい変更は認められないか 事業工期末を令和9年度から令和11年度に延伸する。主な理由は以下。 本地区は、中山間地域に位置し、事業採択後に地区界測量を行ったところ、地区外の山林・原野の所在者不明土地・相続不明土地の調査に時間を要したことや、地図混乱地域であるため公図と現地との整合を図るために想定外の時間を要した。</p> <p>② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか 地元負担について関係者との合意形成が図られている。</p> <p>イ 関連事業の進捗状況</p> <p>該当なし</p> <p>① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか 農業農村整備事業管理計画に即し、適切に連携・調整が行われている。</p>			

- ② 国営附帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか  
本地区は国営附帯地区に該当しない。

ウ 農林水産業の情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化

- ① 受益面積の増又は減が10%未満であるか  
計画変更(令和6年12月計画確定)以降、受益面積の変動は生じていない。
- ② 主要工事計画の著しい変更が認められないか  
計画変更(令和6年12月計画確定)以降、主要工事計画の著しい変更は生じていない。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化(費用対効果分析の結果を含む)

計画変更(令和6年12月計画確定)以降、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

- ① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分(労賃又は物価の変動によるものを除く。)が計画事業費の10%未満であるか  
計画変更(令和6年12月計画確定)以降、変更はない。
- ② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか  
勝浦市の農業振興地域整備計画と整合が図られている。
- ③ 費用対効果分析の結果  
(B/C) 1.10 (現計画時: 1.16)

オ 事業コスト縮減等の可能性

ため池の取水工を取水栓式取水工からサイホン式取水工に変更し、堤体掘削を最小限とすることでコスト縮減が図られている。また、地域発生資材である籾殻を暗渠排水の疎水材として有効利用するなど、積極的にコスト縮減に努めることとする。

カ 地元(受益者、地方公共団体等)の意向

本事業を契機に、地域農業を支える担い手農家5名及び農地所有適格法人1社が育成される予定であり、計画では農用地面積に占める担い手への利用集積率が8.2%(R2)から94.1%(R13)に増加する見込みである。

また、受益地内では、スイートコーン等の作付けも進めており、工事の早期実施等、事業の早期完了を要望している。

キ 代替案の実現可能性(上記の検討の結果、問題があると認められる場合に限る。)

該当なし

ク その他

① 環境等の調和への配慮  
幹線排水路の一部区間についてブロックマット護岸とすることで環境に配慮する。また工事に際しては汚濁水や工事土砂が水路や河川に流入しない対策を徹底し、工事実施に際しては、環境負荷の低い排出ガス規制型、低騒音・低振動型の機械を使用する。

② 計画変更

第1回計画変更年月日(計画確定日) 令和6年12月26日

事業主体の  
事業実施方針

継続する。

<p>事業主体の 予算要求方針</p>	<p>令和8年度予算を要求する。</p>
<p>第三者 の意見</p>	<p>本地区は、地区外の山林や原野等の所有者の所在が不明な土地や相続人が不明な土地の問題を解決するために事業着手の遅れはあったが、既に問題は解決しており、本事業により土地や権利関係を整序化するなどの効果が認められる。また、事業に着手していることから、今後の大幅な事業の進展が期待される。</p> <p>中山間地域における営農環境整備は今後の地域農業にとって重要であり、営農組合等の組織化も期待できることから、着実に事業を推進し、早期の効果発現に努められたい。</p>
<p>補助金 交付の方針</p>	<p>予算を割り当てる。</p>



## 農業農村整備事業等再評価地区別資料

局 名	関東農政局
-----	-------

都道府県名	山梨県	関係市町村名	ほくとし 北杜市
事業名	農業競争力強化農地整備事業	地区名	なかも 中山
事業主体名	山梨県	事業採択年度	平成 27 年度
<p>〔事業内容〕</p> <p>事業目的： 本地区は、山梨県北西部の北杜市に位置し、かつては養蚕を中心とした農業が行われていたが、養蚕業の衰退に伴い桑園が耕作放棄地となっており、有害鳥獣が増加するなど周辺の優良農地へ悪影響を及ぼしている。</p> <p>このため、区画整理等の基盤整備を実施することにより、区画を拡大し、耕作放棄地の解消や農地の集積と併せ、大型機械を用いた営農による生産性の向上を図り、本地域全体として農業競争力の強化を図るものである。</p> <p>受益面積： 30ha</p> <p>主要工事計画： 区画整理 30ha（整地工 30ha、農道 6 km、用水路 4 km、排水路 4 km） 用水路 1 km 排水路 0.2km 鳥獣害防止柵 4 km</p> <p>総事業費： 2,414 百万円（計画総事業費：2,234 百万円）</p> <p>工期： 平成 27 年度～令和 9 年度（計画工期：平成 27 年度～令和 3 年度）</p> <p>関連事業： なし</p>			
<p>〔項目〕</p> <p>ア 事業の進捗状況</p> <p>本地区の区画整理の整地工は概ね完了しており、令和 6 年度までの進捗率は、85.8%である。残された事業量を早期に完了していく。</p> <p>① 計画工期に対して著しい変更は認められないか</p> <p>本地区は、平成 27 年度に事業採択されたものの、実施に先立ち、平成 28 年度から埋蔵文化財調査を行った結果、文化財が確認され、その対策に時間を要したことから工期を延伸することとなった。その後は区画整理等が進み、残事業も令和 9 年度完了に向け計画的に事業進捗を図る予定である。</p> <p>② 地元負担等について、関係者間の合意形成が図られているか</p> <p>地元負担について関係者との合意形成が図られている。</p> <p>イ 関連事業の進捗状況</p> <p>該当なし</p>			

① 「農業農村整備事業管理計画」等に即し、関連施策等との連携・調整が行われているか  
農業農村整備事業管理計画に即し、適切に連携・調整が行われている。

② 国営附帯地区については、国営事業との進捗調整が図られているか  
本地区は国営附帯地区に該当しない。

ウ 農林水産業の情勢、農山漁村の状況その他の社会経済情勢の変化

① 受益面積の増又は減が10%未満であるか  
計画変更(令和3年9月計画確定)以降、受益面積の変動は生じていない。

② 主要工事計画の著しい変更が認められないか  
計画変更(令和3年9月計画確定)以降、変更はない。

エ 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化（費用対効果分析の結果を含む）

計画変更(令和3年9月計画確定)以降、費用対効果分析の基礎となる要因の変化は生じていない。

① 工法や事業量の変更に伴う事業費増分（労賃又は物価の変動によるものを除く。）が計画事業費の10%未満であるか  
計画変更(令和3年9月計画確定)以降、変更はない。

② 市町村等が策定する農業振興計画等との整合が図られているか  
北杜市の農業振興地域整備計画と整合が図られている。

③ 費用対効果分析の結果  
(B/C) 1.04 (現計画時：1.15)

オ 事業コスト縮減等の可能性

農道の路盤材および水路の基礎砕石について、従来はクラッシュランを使用するが、再生砕石を使用し、コスト縮減を図る。

今後、実施予定の工事においても、積極的にコスト縮減に努めることとする。

カ 地元（受益者、地方公共団体等）の意向

担い手となる農業法人は、営農計画に基づき苗木の準備や土作りを開始しているため事業の早期完了を要望している。地元では、事業実施後の農業法人による営農において地域住民の新たな雇用創出が期待されており、事業の早期完了を要望している。

キ 代替案の実現可能性（上記の検討の結果、問題があると認められる場合に限る。）

該当なし

ク その他

① 環境等の調和への配慮

本地区は、北杜市の田園環境整備マスタープラン環境配慮区域に設定されており、施工時に貴重な動植物が確認された場合には、移動や影響を最小限に抑える方策を検討し、濁水の流出を防止するなど施工時の環境への影響に配慮している。施工エリア内に沈砂池を設けることで、施工中の降雨等による濁水が下流域へ流出しないよう環境への配慮を行っている。

② 計画変更

第1回計画変更年月日（計画確定日） 令和3年9月10日。

事業主体の 事業実施方針	継続する。
事業主体の 予算要求方針	令和8年度予算を要求する。
第 三 者 の 意 見	<p>本地区は、区画整理を実施中であり、事業進捗率は85.8%となっている。本事業により、ほ場の大区画化、用排水路及び農道が整備されることで、農業生産性が向上するとともに農業法人へ農地が集積されるなどの事業効果が期待される。</p> <p>今後もコスト縮減を図りつつ、担い手による新たな産地形成に向けて、事業の着実な推進と早期完了によって効果発現に努められたい。</p>
補 助 金 交 付 の 方 針	予算を割り当てる。

# 農業競争力強化農地整備事業

なかやま

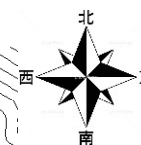
## 「中山地区」事業概要図【No.5】



大区画化

主要工事	区画整理	30ha
	用水路	1.3km
	排水路	0.2km
	鳥獣害防止柵	4.1km

実施計画	R6年度まで進捗率：86%
	R7年度：区画整理（排水路）等
	R8年度：用水路 等
	R9年度：鳥獣害防止施設 等



凡例 1	
区画整理	
用水路	
排水路	
揚水ポンプ	
鳥獣害防止施設	

凡例 2	
令和7年度まで	
令和8年度以降	

